

テーマ
関西を旅行するドイツ人のためにオススメのスポットやグルメを紹介してみよう！
目標
<p>学習者レベル（第2外国語でドイツ語を学ぶ初学者（A1相当））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト学習までに教科書で習ったドイツ語を総合的に運用すること。</li> <li>実際にドイツ人に伝えることを想定して、日本の文化をわかりやすく、簡潔に説明するにはどうすれば良いか（写真を使う、ガイドブックなどを参考にする等）創意工夫する。</li> </ul>
コミュニケーション能力指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだテーマ（おススメグルメまたはスポット）についてCEFR指標のA1相当のドイツ語を用いて説明できる。</li> <li>おススメスポットの場所を説明できる。</li> <li>食べ物の味を伝えることができる。</li> <li>おススメスポットでできることを説明できる。</li> <li>パワーポイントを効果的に使用しながら、ドイツ人にわかりやすく情報を伝えることができる。</li> </ul>
学習シナリオ
<p>&lt;場面状況&gt;</p> <p>クラスは週1回90分第2外国語としてドイツ語を学ぶ大学1年生及び2年生で構成されるクラスで、当授業が必須単位である経済学部、経営学部と自由選択で履修する看護学部の学生が混同している。人数はまだ未定。後期の終盤に行う本プロジェクト学習までは『スタート！1 コミュニケーション活動で学ぶドイツ語』（三修社）を使用してドイツ語を学ぶ予定である。テキストは各課が日常の関するテーマごとに構成され、それに付随する文法項目が収録されている。テキストで学ぶ内容は以下を予定している。</p> <p>第1課：Kennenlernen（人と知り合う） （文法項目：人称代名詞、動詞の現在人称変化（規則動詞）、疑問文）</p> <p>第2課：Freizeit（自由時間の過ごし方） （文法項目：人称代名詞、動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定形、男性形・女性形など）</p> <p>第3課：Tagesablauf（1日の予定） （文法項目：分離動詞、語順、話法の助動詞）</p> <p>第4課：Wohnen（住まい） （文法項目：名詞の性と格、定冠詞・不定冠詞、否定冠詞の主格・目的格など）</p> <p>第5課：Essen und Trinken（食事） （文法項目：不定冠詞と定冠詞の目的格、無冠詞、名詞と三人称の人称代名詞）</p> <p>前期で第3課まで、後期で第4・5課を扱う予定にしている。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt;</p> <p>上記のテキストで学んだ内容を踏まえ、全5回のプロジェクト学習を行う。 1回目～4回目をプレゼン準備に充て、5回目をプレゼン大会とフィードバックに充てる。</p> <p>（1回目）概要説明とテーマ発表&amp;ブレインストーミング</p>

まず、このプロジェクトがどのように評価されるかを学生にきちんと意識させるために、ループリック評価を配布し、どんな能力（テーマの理解度、チームワーク、文法・発音などドイツ語運用能力、伝える力、etc.）が評価対象かを説明する。そして、プロジェクト学習の全体予定を周知する。（プレゼン時間と発表日、準備段階での提出物期限、など。）テーマを発表し、アイデアを集めるためにブレインストーミングをクラス全体で行う。似たようなテーマを考えたメンバー同士でチームを構成させる。

#### （2回目）プレゼン内容の検討

グループごとに決めた具体的なテーマに沿って、どんなことを紹介していくかのシナリオ作りを行う。この時に、難しく考えすぎず、今まで習ったドイツ語で表現できそうなレベルのシナリオを作らせることを学生に意識させたい。宿題で事前にシナリオ想定をさせておいて、各自が宿題を授業に持ち寄り最終的な内容をグループでまとめさせてもいいかもしれない。（予め、教師が見本用のPPを作っておいてそれを参考にしてもらうことも考えています。でも完全なパクリにならないか？少し心配…）内容がまとまれば、PPの構成を練ってもらい、草案を提出してもらおう。この草案の内容を各グループで分割して次の授業までに分担部分のドイツ語原稿を考えてきてもらうことを宿題とする。

#### （3回目）プレゼン内容の再検討とドイツ語の発表原稿&PPの作成

プレゼン草案を教員側で修正し、それを学生に返却した上で内容を再検討してもらおう。これを踏まえた上でドイツ語の発表原稿作成とPP作成に取り組んでもらう。おそらく原稿作成のプロセスが一番時間がかかる（かけたい）所であるので、教員は随時ドイツ語の質問やアドバイスに重点を置く。教員が事前の把握と修正を行えるように、各グループごとのドイツ語原稿の事前提出期限（4回目の授業3日程前まで）を周知し、進度が遅いグループには特にLINEやGoogle Driveなどを利用して授業外でも連絡を取り合って原稿作りを進められる提案をする。

#### （4回目）発表原稿の最終調整&PP作成の続きとプレゼン練習

事前提出された原稿を各グループに返却し、最終調整を行う。（終わっていないグループがあればこの時間に延長してやらせる。）発表当日のPPは5回目の授業前日までに教員にデータを送るように周知する。原稿の完成したグループには発表の練習をしてもらう。（ループリック評価を思い出してもらえるように、人に伝わるプレゼンがどんなものかクラス全体で考える時間を取ってもいいかもしれない。）授業の最後にプレゼン大会の順番決め。

#### （5回目）プレゼン大会&フィードバック

プレゼン大会の前に評価用紙を各自に配り、プレゼンを聴きながら各グループを評価してもらおう。プレゼン最後にどのグループが優秀だったか人気投票をする。そのあとに、各自にフィードバックを行い、プロジェクト学習において各自が何を学んだのか振り返ってもらおう。

（この回には実際にドイツ人を連れて行こうと思っています。時間が合えば。）

### 総括的評価

ループリック評価に基づく成績

### 3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語で紹介されている日本のガイドブックを読む</li> <li>プロジェクト学習までに習ったドイツ語を応用して、おすすめグルメやスポットの紹介文を作成・発表をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ人に人気の関西のスポットやグルメを知る。</li> <li>ドイツの文化を理解し、ドイツ人の嗜好を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動を通して、チームで協力し合う力を養う。</li> <li>物事のゴールを決めて、それを達成するためのタイムマネジメントを行う</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだテーマ（おすすめグルメまたはスポット）についてその概要をドイツ語で説明できる。</li> <li>おすすめスポットの場所を説明できる。</li> <li>食べ物の味を伝えることができる。</li> <li>おすすめスポットでできることを紹介できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統や流行を踏まえた上で、ドイツ人に日本の「おすすめ」グルメ・スポットとして紹介できる。</li> <li>ドイツ人がどんな日本の文化に興味を持っているのか理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の際に必要な資料などをチーム内で役割分担し、各自が責任を持って作業を遂行する。</li> <li>ICT を効果的に使用し、情報収集や Power Point の作成に生かすことができる。</li> </ul>
つながる	ドイツ人に実際に発表を見てもらい、フィードバックをもらう。	他のグループの発表を聞いて、意見を交換することができる。	
三連携	<p>連携1：興味関心のあるテーマに意欲的に取り組み、目的遂行のためのチームワークや問題意識を持つことができる。</p> <p>連携2：これまでに習ったドイツ語の語彙、文法、会話を総合的に応用し、使用することができる。</p> <p>連携3：ドイツ語の資料に触れる、インターネットの情報を生かす。</p>		

## 目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
学習者各自がおすすめスポットやグルメについてブレインストーミングをする。	各自が興味あるテーマを絞り、グループ分けをする。	ドイツ人のためのおすすめのスポットやグルメを理解し、発表テーマと構成を決める。	関西を旅行するドイツ人のためにオススメのスポットやグルメを紹介してみよう！
ブレインストーミングを参考にして、グループを学生同士で組ませる。			
日本のガイドブックや観光局のHPを調べる。	ドイツ人向けのおすすめスポットやグルメを理解する。		
ドイツ語のガイドブックやブログで紹介されている関西のスポットや食べ物をリサーチする。			
各グループで決めたおすすめスポットやグルメについての情報を持ち寄って、意見をまとめる。	発表テーマに沿った内容を構成する。		
発表内容を絞り、発表の全体構成を考える。			
【形成的評価】発表内容、構成を提出			
発表例を紹介する。(サンプルあれば◎、なければ教員が作成したものを見せる。)	発表内容例を紹介する。	発表の流れを具体的に構成し、チームで協力して発表することができる	
発表で使える言い回しなどを参考にし、発表の流れを理解する。	チームで作業を分担する。スライド、原稿を作ることができる。		
具体的な構成を考え、PPのスライドに書く内容を決める。			
役割分担をし、各グループで作業を分担する。			
写真や図を挿入し、スライドを作成。			
スライドに合わせてドイツ語原稿を作る。			
【形成的評価】途中原稿を提出			
修正した原稿を見て、発表の練習をする。	わかりやすい発表をするために、「伝える」ことを意識した練習を行う。		
発音ソフトや教員の指導などを駆使して、発音の練習をする。			
【総括的評価】ドイツ人に発表を見てもらい、フィードバックをもらう。個人でもフィードバックを行い、プロジェクト学習を振り返る。			

## 評価のめやす

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少 し! (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
発表内容 (言語的評価)	文法、語彙が正確に使用され ている。	文法、語彙がほぼ正確に使用 されている。	文法、語彙に間違いが見 受けられ、あまり正確でな い。	文法、語彙の間違いが多く、 正確性に欠ける。
分量	発表時間が規定の時間に正 確に収まっている。	発表時間が規定の時間にほ ぼ収まっている。	発表時間が少し短すぎる または長すぎる。	発表時間が全く規定時間に収 まっていない。(短すぎるまた は長すぎる。)
伝わりやすさ	聞き手の反応を見ながら発表 でき、大きな声でよく聞き取れ る。	はっきりした声で、聞き取りや すい。	声が所々で小さく、聞き 手に聞き取りづらい所が見 受けられる。	声が終始小さく、聞き手が全く 聞き取れない。
発音	ドイツ語の発音規則に従って、 正確に発音でき、非常に聞き 取りやすい。	発音がほぼ正確で、聞き取り やすい。	発音が母語の発音のよう になり、聞き取りにくい。	発音が不正確で、全く聞き取 れない。
スライド構成	内容に沿った構成かつ、デザ インに創意工夫があり、聞き手 にとっても分かりやすい。	内容に沿った構成で、聞き手 にも分かりやすい。	内容に沿った構成にしよ うとしているが、分かりづら い点がある。	全く内容に沿っておらず、聞き 手が理解できない。
チーム力 (意欲)	チーム内の役割分担が明確 で、全員が協力して発表に意 欲的に取り組んだ。	チーム内の役割分担ができ、 全員が協力し発表に取り組ん だ。	チーム内での役割分担 があまりできず、協力して 発表に取り組めない所が あった。	チームで役割分担が全くでき ず、発表にも消極的であった。